

研究報告会

「実はすごいぞ武雄の歴史!!」を行います

武雄は、江戸時代後期から蘭学・洋学を積極的に導入し、佐賀藩が幕末の雄藩となる原動力となりました。

今回、武雄高校の生徒のみなさんとともに、幕末の武雄の歴史を通して武雄の魅力を再発見し、武雄の地域について考える研究報告会を行いますので、ぜひ取材をお願いします。

■名称

研究報告会「実はすごいぞ武雄の歴史!!幕末の歴史から武雄の魅力を再発見」

■日時

令和4年2月24日(木) 13:00~15:00

■会場

武雄市文化会館大ホール
〒843-0022 佐賀県武雄市大字武雄 5538 番地 1

■プログラム

①武雄高校生による研究報告

- ・平山醇左衛門について
- ・山口尚芳について
- ・中村涼庵について
- ・アームストロング砲について

②基調講演(リモート)

演題：ローカルからグローバル、その先へ～日本の歴史・風土・文化に自信を持って
講師：鈴木一義氏(国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長)

③意見交換

登壇者：鈴木一義氏(リモート)
山口祐香氏(九州大学アジア・オセアニア研究教育機構学術研究員)
小松政氏(武雄市長)
進行：川副義敦氏(武雄市歴史資料館専門官)

※発表は文化会館のステージで行い、無観客で実施します。

※武雄高校へライブ配信し、1・2年生は各教室で視聴します。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市図書館・歴史資料館 歴史資料係 TEL 0954-28-9105